

研究協力のお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

食物アレルギー児とその保護者のレジリエンスと Quality of Life の関連に関する探索的研究

1. 研究の対象および研究対象期間

アレルギー専門医に診断された食物アレルギーを有し、2024 年 7 月 21 日から 2024 年 9 月 30 日に昭和大学病院の小児科を受診した患者さんの保護者および 8 歳から 15 歳の患者さん

2. 研究目的・方法

この研究の目的は、食物アレルギーを持つお子さんとその保護者の方の生活の質(QOL)を評価し、そのQOLに影響を与える不安や負担と、困難に対処する力であるレジリエンスとの関係を明らかにすることです。具体的にどのような不安や負担がQOLを下げているのか、またそれとレジリエンスがどう関わっているのかがわかれば、QOLを改善するための適切なサポート方法を見つけることができます。

対象は、昭和大学病院を受診している食物アレルギーのあるお子さんを持つ保護者の方やお子さん自身(8~15歳)です。個人情報に加え、診療の一環としてQOLやレジリエンスに関する質問にお答えいただいたものを後ろ向きに評価します。

3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2028年3月31日までとします。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

調査項目(保護者)

- 背景(保護者の年齢や性別、同居している配偶者の有無、就労状況、子どもの数、食物アレルギー児の数、食物アレルギー児の年齢、食物アレルギー発症年齢、除去品目数、他のアレルギー疾患の合併、アナフィラキシー歴の有無、エピペン所持の有無、経口免疫療法の有無)
- 食物アレルギー児を持つ保護者のレジリエンス尺度
- a.食物アレルギー児の養育者自身の Quality of Life 質問票、b.食物アレルギー児の養育者が回答する児の Quality of Life 質問票

調査項目(8歳から15歳の患者さん)

- レジリエンス尺度:思春期アレルギー児のレジリエンス尺度
- 日本語版「食物アレルギー-QOL尺度 児童用」

